

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [多摩市立南鶴牧小学校] 担当教諭名 [岩崎 美和子] (5年 104名)

交流相手国 [フランス]

海外学校名 [Groupe Scolaire Carlepont] 担当教諭名 [Jean-Marie Lelong]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながろう	23

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	平和と文化理解
絵に込めたメッセージ	国同士の争いのない平和な世界になってほしい。(絵を分断するのではなく一つの地球をつなげて半分ずつ描き、はなれていてもつながっていることをあらわした。) お互いの国の特徴的な文化を知り、理解しあおう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・フランスでテロが起きたときに、日本の生徒は、とても心配していた。自主学习で、事件について調べてくる児童もあり、アートマイルを通して以前よりも世界に目が向くようになった。 ・フランスとの関わりをととても楽しんでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TV会議をしたときに、電波が悪かったのか1回目はほとんど音声がなく、映像もコマ送りのようになってしまい、2回目をやり直した。事前に、教員同士だけでテストはしたものの今後も課題が残る。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・フランスについて知っていることは、サッカー選手とフランスパンであったが、他にも有名な建物やフランスの建物など知ることができた。 ・フランスの子達とTV電話を通して話ができ、実際に会いたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フランスについて以前より知識が増え、いつか訪れたいと思った。 ・相手校の先生がとても良く、広報していたりIT機器を使いこなしていたので刺激を受けた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	10月	・自分の名前と好きなものを英語で画用紙に書き、写真撮影。写真をフォーラムに載せた。	・自分たちが送った写真と似た形式の写真がフランスから届き、子どもたちはとても嬉しそうだった。写真や英語の文を食い入るように見ていた。	総合
テーマ学習	10月	・フランスについて調べプレゼンテーションを行った。 ・日本についてまとめ、フランスにポスターやビデオ等で紹介した。	・英語での紹介に挑戦したり、フランス語を調べてきたり、絵を描くなど一生懸命相手に伝わるように工夫をしていた。	総合
構図決定	11月	・子ども達に何を描きたいか聞き、フランス側と相談して決めた。	・児童一人ひとりがデザインを考え、様々なアイデアが出てきた。日本らしいものがなんなのか、わからずに苦戦する児童もいたが、日本文化を再認識する良い学びとなった。	総合
壁画制作	12月	・子ども達のデザインをもとに代表の児童がデザインをまとめた。フランスからのデザイン案も取り入れた。	・絵が得意な子達が非常に熱心に話し合いを重ね、意味を考えながら取り組んでいた。特に「平和」や「つながり」をどう入れるか工夫していた。	総合
鑑賞・振り返り	2月	・フランス人留学生を招き、フランスの話聞かせてもらったのち、みんなの前で包みを開けた。	・初めて全部の絵を見たときには子供たちは拍手喝采だった。 ・フランス人留学生には積極的に質問をしていた。(時間が足りなくなるほど)	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	発信するために、自文化を振り返るきっかけになった。
異文化の理解	A	4	相手の国の話に大変興味をもって聞いており、質問や自主学習で調べてくる児童が多くいた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	英語やフランス語を使って発信しようとする態度が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	インターネットでは得られない、自分達だからこそ伝えられる今の日本の様子を様々な方法で伝えることができていた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	C	4	相手校の生徒へクリスマスや年賀状のカードを丁寧に書いて送っていた。テロのときにとっても心配していた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	グループごとにテーマを決めて、発信の準備を進めていく中で、協働する力が育った。
学習を追究する意欲	C	3	もともと意欲的に学習に取り組む児童が多いため、それほど大きな変化はなかった。しかし相手の児童の顔が見れたことで、相手工がないよりは意欲は高まったと思う。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	個人差があるため、全体として身についたとはいえない。
作品を鑑賞する力	C	3	個人差があるため、全体として身についたとはいえない。